

# 柏の樹



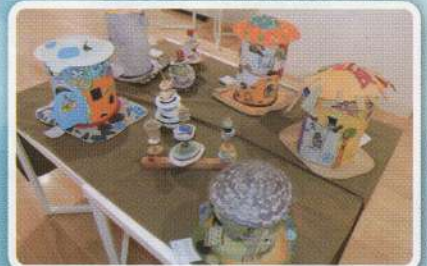
第26号

発行: 柏市文化連盟 編集: 柏市文化連盟広報委員会 事務局: 柏市酒井根4-6-1 鈴木方 ☎04-7172-6759  
柏市文化連盟創立: 昭和34年(1959年) <http://kashiwa-bunka.net>

平成30年(2018年)  
1月1日

柏市文化連盟  
加盟団体

## 市内各所で舞台芸能・展示作品を披露



# オリンピックと藝術鑑賞会



柏市文化連盟会長  
鈴木 将勝

日頃大変お世話になっております大勢の市民の皆様、とくに全面的なご指導、ご鞭撻をいただいております賛助会員の皆様に、新年のごあいさつと皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、新年の1月1日でオリンピックもあと935日となりました。当初より、柏市文化連盟総意でとりあげられました柏市藝術鑑賞会も第3回を迎えることになりました。

スポーツ文化と芸術文化は切っても切れない国柄の伝統文化として、硬い絆で結ばれております。そしてこの文化は支えていただく国、地域のご理解ある皆様の熱いご声援がなければ、文化としての態を形成することが不可能と思っております。

今年も、柏市教育委員会のご支援のもと、この第3回柏市藝術鑑賞会の成功を目指して、全力で邁進していきたく思っております。

世代交代の進むなか「文化で楽しい、そして住んでみたい柏」に貢献できるのも我らの責務と感じております。

全員で日本一の芸術祭にしていきたいと思っております。ご期待下さい。

## 柏市に九年の歳月をかけて「七福神」を設立

### 設立代表の濱田秀雄さんに聞く

柏市文化連盟の賛助会員でもある濱田秀雄さんは、柏に七福神を設立するため設立代表として、長い間尽力されてきました。その濱田さんに、設立の動機、目的などを聞いてみました。(黒原)



濱田 秀雄 氏

### 七福神とは

お話をお聞きする前に七福神について調べてみました。

七福神の福の神は、人々が将来に絶望し、神頼みしたくなるような時代背景に流行るようです。いったい誰が作ったのかは色々な説があり、歴史のひもを解いてみると面白い。

大黒天、弁財天、毘沙門天はインドのヒンドゥー教の神様であり、また福祿寿、寿老人は中国の道教で祭られた星の神様で、布袋尊は死後に神格化された中国の実在の人物と言われております。これに日本で人気のある「恵比須様」を加え、七福神となったと言われております。

### 柏市の発展のためにも七福神を

この発端はおおよそ9年前、市内在住の歴史愛好家・赤間栄太郎さんが「七福神が松戸・流山にはあって柏にないのは寂しい。柏市にも設立しよう」と、幸町弁財天の世話人でもある濱田さんに熱心に相談されました。「街の発展にもつながり、足を運ぶことで健康増進にも役立ち、また人が集まり経済効果も期待できる。神仏とはちょっと違ったモニュメントとして街のイメージづくりを促進し、柏市のランドマークともなれば」と判断。設立代表を受けました。

濱田さんは、早速「街づくり柏七福神の会」を設立、柏駅周辺の寺社などへ参加を呼びかけ、以後4年3か月の歳月を費やし、第1号(神像の設置と入魂式)を設立しました。七福神の設立はその後着々と進み、今年5月には最後の「寿老人」が香取神社(戸張)に設置され、下記の地点に7柱が設置されました。柏市の新しいパワーポイントとして、天気の良い日はぜひとも足を運んでパワーを賜りたいものです。



① 毘沙門天

七難即滅

花井大洞院  
花野井1757



② 恵比寿天

福寿無量

香取神社  
旭町2-7-23



③ 弁財天

知恵倍增

幸町弁財天  
柏4-10-22



④ 福祿寿

招福安泰

豊受稲荷本宮  
豊四季972-14



⑤ 寿老人

無病長寿

香取神社  
戸張  
平成29年  
5月吉日設立



⑥ 大黒天

商売繁盛

神明社  
塚崎1460



⑦ 布袋尊

福德円満

福満寺  
大井1708

# 式典のあと三曲合奏、楽器合奏など熱演

## 第64回柏市文化祭オープニングセレモニー

「羽ばたこう柏の文化大空に」のキャッチフレーズで第64回柏市文化祭は、10月、11月にかけて柏市文化連盟の参加団体が市内各所で舞台芸能、展示作品などを披露して文化の秋に彩りを添えましたが、その皮切りとなる第64回柏市文化祭オープニングセレモニーは、10月7日アミュゼ柏クリスタルホールで行われました。

当日はまず式典が行われ、秋山柏市長、川島柏市教育長などが祝辞を述べられたあと、キャッチフレーズの作者・井岡啓子さんと、文化祭プログラムの表紙絵を描かれた小林大彦さんに、鈴木柏市文化連盟会長から感謝状が贈られました。このあとステージでは、柏市三曲協会による「三曲合奏」、グランドアンサンブルGO! 柏による「楽器合奏」、高源麗美さんによる独唱が行われ、満員の客席から拍手が送られました。



## お茶のおもてなし、展示作品も豊富に

一方アミュゼ柏1階プラザでは、柏市文化連盟茶道部門が来場者にお茶のおもてなしをするとともに、展示作品も書道協会が書、創作ルームアートリングが手工芸、柏窯会・柏陶会が陶器、沼南華道会が華、洋画研・ひまわりが絵画、大井盆栽会、かたくりの会が園芸作品を展示し、来場者の目を楽しませました。



## 書道ワークショップで書道の楽しさ学ぶ

### 柏市書道協会が東大留学生対象に毎年開催

柏市文化連盟に加盟する柏市書道協会では、毎年東大大学院の留学生とその家族の方を対象に、三井ボランティアネットの方たちと一緒に、書道ワークショップ(体験型グループ学習)を開催しております。

このワークショップでは、アメリカやインド、中国、韓国、台湾などさまざまな国からの留学生が、お手本をもとに一心に書に向き合い、書き順や、筆の向きなど質問しながら、毎回とても熱心に取り組んでおります。

今後一人でも多くの留学生に、書道の楽しさを学んでもらえるよう、活動していきたいと思っております。(永山 檀容)



(写真は書道ワークショップのもよう)

## 「川柳と日本語の魅力」を語る

講師は東葛川柳会代表の江畑先生

### 柏市文化連盟主催の第10回文化講演会

柏市文化連盟主催（企画委員会企画）の第10回文化講演会が、9月28日、アミュゼ柏プラザ1階で行われました。

講師は江畑哲男先生（東葛川柳会代表・流通経済大学付属柏高校非常勤講師）で、講演テーマは「川柳と日本語の魅力」。



先生は、日本語の特長の一つとして、和語、漢語、カタカナ語、混種語など三種類以上の語種があること。また文字表記も漢字、カタカナ、ひらがななど、三種類以上あることなどを、最近の話題を例にあげながら説明。日本語化した漢字の奥深さなどについても述べられました。

そのうえで川柳については、いくつもの作品を紹介しながら、「ズバリも川柳、チクリも川柳、ホロリもまた川柳。人間を、人生を、社会を五・七・五のリズムに乗せて自由闊達に詠みましょう。親しみやすく、しかも奥深い文芸の創作が毎日を楽ししくしてくれます」と語られました。

まとめとして先生は「川柳は日本語によって磨かれる、磨き抜かれた川柳は日本語それ自体の魅力をも発信する」と述べられ、満員の客席から拍手を浴びられました。

来場者のある女性は「リセットとか、ワイズペンディングなど最近の話題を交えながらの先生のお話は新鮮で楽しかった。機会があればもう一度お話を聞きたい」と語っておられました。（日高）



テーマは

## 「漢方と身近な薬草の話」

### 柏市文化連盟第11回文化講演会決まる

柏市文化連盟企画委員会企画の「第11回文化講演会」が下記の通り決まりました。

● 講演テーマ

「漢方と身近な薬草の話」

● 日時

平成30年1月26日（金）  
午後2時30分～4時30分

● 場所

アミュゼ柏プラザ1F

● 講師

池上文雄先生（千葉大学名誉教授）

お問い合わせ先：電話04-7163-0929（河村）

## 東北・松永窯で相馬焼を体験

復興支援と地元産業の勉強を兼ねて

### 平成29年度スタディツアー

柏市文化連盟企画委員会企画の「がんばれー東北」と題しての、地震災害からの復興支援と地元産業の勉強を兼ねたスタディツアーが、11月26日、27日の二日間、30名が参加して行われ、東北方面に旅行しました。

大型貸し切りバスで、初日は常磐道、東北道を経て白河ICへ。白河ICから一般道で西郷村に向かい、昼食のあと松永窯で相馬焼を体験しました。

二日目は、金沢邦子美術館を見学。その後、五浦・大津港で買い物など行い、午後5時すぎ、柏駅西口に帰ってきました。



（写真は松永窯での相馬焼体験）

### 柏市観光協会

## 「絵で訪ねるふるさと柏カレンダー」を販売

作品は柏市文化祭プログラムの表紙絵を描いた

## 小林大彦さん

柏市観光協会では、柏市文化連盟が発行している柏市文化祭プログラムの表紙絵を描いておられる画家・小林大彦さんによる「2018 KASHIWA CALENDAR～絵で訪ねるふるさと柏カレンダー～」を作成。11月から販売しております。カレンダーについて同協会では「やわらかなタッチの水彩画で柏市内の四季折々の名所や行事が描かれた素晴らしい作品です」と語っておられました。（日高）

販売価格

300円（税込）

販売場所

柏市観光協会（柏商工会議所）、  
かしわインフォメーションセンター

発行部数

2,000部

問合せ先

柏市観光協会  
電話：7162-3315



### 編集後記

第64回柏市文化祭では、皆様取材にご協力いただきありがとうございます。また、今号は、柏の七福神の設置につき、長い間設置代表を務められておられた濱田様に取材させて頂きました。濱田様ありがとうございました。 中村 洸扇